

＜日商簿記1級商業簿記ミニテスト＞持分法

×1年3月31日において、令和株式会社は平成株式会社の発行済み株式の20%を10,000円で取得し、関連会社として持分法を適用することとした。

次の資料にのものとついて一連の仕訳を行いなさい。

[資料]

①×1年3月31日における平成株式会社の資本勘定は次のとおりである。

資本金：7,500円 利益剰余金：5,200円

②×1年3月31日における平成株式会社の土地(帳簿価額4,000円)の時価は5,500円であった。

③投資差額は発生年度の翌年から20年で定額法により償却する。

④×2年度の平成株式会社の当期純利益は3,500円であった。

⑤平成株式会社は×2年度に剰余金の配当1,800円を行った。

＜問題1＞×1年度の連結財務諸表を作成するために必要な修正仕訳を示しなさい。

＜問題2＞×2年度の連結財務諸表を作成するために必要な修正仕訳を(3つ)示しなさい。

	科目	金額	科目	金額
＜問題1＞	仕訳なし			
＜問題2＞	持分法による投資損益	358	平成株式	358
	平成株式	700	持分法による投資損益	700
	受取配当金	360	平成株式	360